

第5回うるま市地域公共交通会議
【令和4年度 第2回】
議事録

日時：令和4年11月22日（火）14：00～

場所：うるま市役所 東館3階 大会議室

開会

1. 会長挨拶

【会長】	挨拶	本日はご出席ありがとうございます。コロナ禍に加え、原油高や円安の影響を受け、交通は非常に苦しい状況にあります。そのような中、電動モビリティの優位性が発揮される状況であります。本日は津堅島における電動のグリーンスローモビリティの実証実験について協議をお願いします。ぜひ闊達なご意見をお願いします。
-------------	----	---

2. 委員出席の確認・会議の成立・開会の宣言

【会長】	出席の確認	次第2. 委員出席の確認について、事務局より報告をお願いします。
【事務局】	報告	本日の委員の出席状況を報告いたします。 委員会委員25名中、現時点で出席者は21名です。 神谷委員、長浜委員、喜名委員については欠席の連絡をいただいています。
【会長】	会議の成立	本日は、委員25名中21名が出席しています。委員の過半数以上が出席となりますので、うるま市地域公共交通会議設置要綱規則第6条第1項の規定により、会議が成立します。
	署名委員指名	会議録署名委員の指名について、会議録署名委員は輪番制でお願いしたいと思います。 今回の会議録署名委員は「石川タクシー合名会社の野原委員」と「日興タクシー合名会社の松田委員」を指名いたしますが、宜しいでしょうか。 《 両委員了承 》 後日、事務局がまとめた会議録のご確認と署名をお願いします。

3. 議事・報告

【会長】	進行	<p>次第3. 協議に移ります。</p> <p>「実証A：公共施設間連絡バス利便性向上に向けた見直し運行内容」及び「実証C：津堅島での新たな公共交通実証運行計画」について事務局よりまとめて説明をお願いします。</p>
【事務局】	説明	《 議事説明 》
【会長】	進行	ただいまの事務局の説明について、ご質問・ご意見等はございませんでしょうか。
【委員】	質疑 応答	<p>《 質疑・回答 》</p> <p>コロナ禍となり、大変苦しい状況に対し、うるま市より暖かいご支援を頂いております。利用率21%減の中で、昨年度1路線15万円の補填をいただき感謝申し上げます。弊社路線バスは地域の足としてお役立ちできればと考えております。しかし、コロナ禍前から輸送人員は右肩下がりで、公共施設間連絡バスの輸送人員は右肩上がりと説明がありました。それはなぜでしょうか。</p>
【事務局】		当初、庁舎間連絡バスとして運行を開始し、分庁した庁舎間や公共施設を結ぶ路線としたため、買い物等の利便性は低い状況でした。昨年再編で、地域の商業施設への乗り入れを行ったため、利用が増えたと考えております。
【委員】		<p>今後有償化をされると伺いました。ぜひ、既存の公共交通との連携、バスによる移動が増えるようなあり方を考えてほしいと思います。</p> <p>役割分担し、全体として公共交通網を充実してください。</p>
【事務局】		ありがとうございます。公共交通ネットワークとして考えて参ります。
【委員】		<p>公共施設間連絡バスのアンケート調査をされると伺いました。質問項目の中に、「帰り」の交通手段分かると、例えばタクシーの利用につながるなど、公共光津全体の利用につながったかが分かるのではないのでしょうか。</p> <p>ぜひ「帰りの交通手段」も項目についても追加を検討していきたいと思います。</p>
【事務局】		アンケートの質問項目にぜひ追加する方向で検討いたします。
【委員】		<p>バスの利用を何とか増やしていきたいという思いがあります。ICカードOKICAは利便性が高く、今後も普及させ、利用につなげたいと思っています。那覇など本島南部の利用率は高い状況ですが、北部に行くにしたがって利用者が少ない印象があります。ぜひご利用頂きたいと思っています。</p> <p>また、バスは災害に強い乗り物であることをご理解頂きたいと思っています。東北新幹線が不通となった際もバス代行運行を行った他、ウクライナの避難輸送などもバスが活躍したと聞いています。ぜひバスの存在意義についてご理解頂き、引き続きのご利用に配慮いただければと思います。</p> <p>また、車内事故防止に協力を頂きたいと思っています。安全安心を肝に銘じて行</p>

		っております。引き続きご理解よろしくお願いいたします。
【委員】		参考資料の詳細データはこれから説明されるのでしょうか。
【事務局】		参考として配布させていただいております。
【委員】		参考資料9ページ、運転免許証の有無の中で免許をお持ちであるにもかかわらず、利用されてる方が一定数いらっしゃいます。理由は分かりますでしょうか。
【事務局】		調査中に話を伺った中では、実家への帰省の帰路で、公共交通で空港へ行かれていた若い方でした。
【委員】		実証Cについて、帰省や観光目的で利用される場合、島には手ぶらで渡る方はいないと思います。荷物の扱いはどうなるのでしょうか。
【事務局】		4人乗り車両は後部に荷物スペースがあり、7人乗りは3列シートの空きスペースに荷物を載せられます。公共的なサービスで荷物の運送まで担えるかは今後検討する必要があると考えています。
【会長】	議事 進行	<p>様々なお意見感謝申し上げます。</p> <p><u>本日のご意見を踏まえ、『実証 A 共施設間連絡バス利便性向上に向けた見直し運行』で示された内容で、12月より路線の再編を行うものといたします。</u></p>

4. その他

【会長】	説明	では、次第4. その他「市民からのご意見」に移ります。 内容について社会福祉協議会の石橋様より説明をお願いします。
【事務局】 【市社会福祉協議会】	説明	《 議事説明 》 下原地区の公共交通ニーズについて説明
【会長】	進行	ただいまの説明について、ご意見等はございませんでしょうか。
【委員】	質疑 応答	運転手が不足している中、市や県から補助金を頂いていても減便せざるを得ない状況となっています。何とか維持できるように努力していきたいと思っております。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。
【委員】		津堅島は港から集落に上がるのが難しいという意見をいただきました。
【委員】		うるま警察署の前は公共交通がないが、公共交通の運行を検討されないのでしょうか。
【事務局】		公共施設間連絡バスが近隣を通っているため、少し離れてしまうがこのバス停を活用いただくことができればと思います。
【委員】		地域とも交流しながら移動手段としてご利用いただけている状況でございます。免許返納をした後確保できないという事で、10%の割引をさせていただいております。

	<p>ます。11/2 に旅客課長から、地域への補助金を活用してタクシーの利用を促進してくださいねというお知らせが来ています。今後もタクシーも頑張っていきたいと思っています。</p>
【委員】	<p>バス待ち環境については我々にとっても課題です。うるま市内では、中部病院前のバス停が最も利用者数が多いのではと思いますが、上屋がございません。用地に制約はあると思いますが、整備を検討いただけないでしょうか。</p>
【事務局】	<p>中部病院前のバス停については市にも要望が届いておりますが、県道であるため、県に整備の要望を伝えております。</p>
【委員】	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>先ほど事務局からもありましたとおり、<u>今この場で課題解決はできなくても、今後も市民・事業者・行政が協働で『誰もが快適で暮らしやすい交通環境の実現』に向け取り組んでいければと思います。</u></p> <p>それではこれで本日の議事は終了し、進行を事務局へお返しします。</p>

5. 事務連絡

【事務局】	<p>説明</p> <p>公共施設間連絡バスの実証経過及び津堅島での実証運行結果についてご報告するため、来年3月に交通会議の開催を行いたいと考えております。</p> <p>なお、正式に日程が決まりましたら、改めて事務局よりご連絡致しますので、ご出席の程、よろしくお願い致します。</p>
-------	---

6. 閉会

【事務局】	<p>以上を持ちまして、本日の令和4年度第2回 うるま市地域公共交通会議を終了いたします。</p> <p>長時間にわたり、活発なご意見、慎重なご審議ありがとうございました。</p>
-------	--